

第 2 回 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会 議事概要

○日時：令和 3 年 6 月 7 日（月）10：00～12：00

○場所：船橋市役所 9 階 第 1 会議室 ※WEB 会議同時開催

○意見交換内容

（1）令和 2 年度交通円滑化対策部会の検討結果報告

前回（第 1 回船橋市交通ビッグデータ見える化協議会）の協議会の際に選定した交通円滑化対策箇所を対策部会で検討した結果（渋滞発生要因・対策メニュー案）の概要を説明した。

意見

- ・高根木戸駅前の検討では、現在提案されている対策メニューに加え、踏切遮断機の開閉に連動した押しボタン式信号（踏切連動信号）、既存ゼブラ帯を有効活用した車線拡幅などの可能性も検討してしたらどうか。
- ・道路側でできる対策に限界もあるため、鉄道会社など関係機関にもヒアリング等を実施し、意見を聞いたらどうか。
- ・都市計画道路の整備が渋滞緩和に有効であるかどうか、必要性や効果検証は十分に検討する必要がある。
- ・対策内容の決定に向けては、交通シミュレーションが重要な役割を果たすため、精度面も含めて、十分検証すべきである。
- ・国道 14 号船橋橋周辺の渋滞は信号の系統が変わっていることが渋滞の原因の可能性があるので、今後詳細な検討が望まれる。また、西船橋駅前交差点の対策は、歩行者の横断が渋滞の大きな原因となっているのは間違いないが、対策にあたっては交通円滑化と安全の対策がトレードオフとなることもあるため、バランスに十分配慮すべきである。

（2）令和 2 年度交通安全対策部会の検討結果報告

前回（第 1 回船橋市交通ビッグデータ見える化協議会）の協議会の際に選定した交通安全対策エリアを対策部会で検討した結果（事故発生要因・対策メニュー案）の概要を説明した。

意見

- ・対策エリア内で立案している対策メニューについては問題ないが、幹線道路の渋滞対策もセットで行えるのが理想である。外周道路に限らず、周辺の幹線道路の前後区間の渋滞の先頭までズームアウトして検討した方が良い。
→交通円滑化対策と交通安全対策を相乗的に向上させるためにも、原点に戻り何が原因か洗い出したい。
- ・交通安全の視点から交差点スクランブル化（歩車分離）を提案している箇所では、渋滞発生もしているため、交通処理の効率も見極めた上で、検討を進めるべきである。
- ・交通円滑化と同様に、交通安全でも対策内容の決定に向けては、交通シミュレーションが重要な役割を果たすため、精度面も含めて、十分検証すべきである。

(3) これまでの検討結果の総括

第1回船橋市交通ビッグデータ見える化協議会及び対策部会の検討結果を公表するための概要資料について説明した。

意見

- ・先進的な事例が多いため、検討結果を公表していくことは、市民への説明責任や他自治体への好事例となることから望ましいが、資料の記載内容・表現方法は十分な調整が必要である。
- ・この協議会や対策部会での大きな成果の一つとして、様々なデータを使い課題点等を「関係機関の中で情報共有できた」こと、データの詳細分析や専門家を含めた議論を行うことによる「科学的アプローチの実施」が非常に効果的であったため、総括に追加したほうが良い。
- ・今後、with・after コロナに向けた検討を進めていくことは非常に良いことであるが、実感として船橋市は変わっていないように思えるが、客観的に変化がはっきり示せるようなデータがあれば今後につなげることができる

(4) 今後の予定

今後の説明した。

- ・令和3年度の協議会は年度内に1、2回の開催を予定。

